

## 術後の状態回復に合わせた剤形変更の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は患者の状態に合わせた剤形変更を提案することで、服薬コンプライアンスの向上に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

悪性中皮腫に対して手術目的で入院し、呼吸状態悪化のため挿管・気管切開を施行した患者。その後、状態も安定し抜管されている。

【処方】 ミヤBM 散 1回 1g 1日 3回毎食後  
ファモチジン散 10% 1回 20mg 1日 2回朝夕食後



だいぶ良くなったよ。  
薬も口から飲めるようになったんよ。

〇さんこんにちは。



薬剤師

お薬を飲んでいて何か気になる症状などは出てないですか？



そういうのはないけど、粉薬は飲みにくいな。  
のどに残るんよねえ。

今は **整腸剤のミヤBM** と **胃薬のファモチジン** が粉薬ですね。  
どちらも錠剤に変えることができますが、いかがですか？



そのほうがいいね。お願いします。

わかりました。では、主治医に相談してきますね。



患者の状態の変化を把握することで、患者の状態に合わせた剤形変更を提案でき、コンプライアンスの向上に貢献できた。